

4番 福田 伸作 議員

1 熱中症対策について

(1) クーリングシェルター指定及び公民館の補助制度について

- ① 本市では、国が制度化したクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）の指定施設の中に、公民館が含まれていない。鹿児島県は人口10万人当たりの熱中症搬送者数が全国1位であり、高齢化率も高い本市においては、身近にある公民館の役割は極めて重要であると考えます。地域の実情を踏まえ、公民館をクーリングシェルターとして指定する考えはないか。
- ② 公民館をクーリングシェルターとして指定した場合、例えば、夏季（7～9月）のエアコンの電気代については補助するなどの考えはないか。

(2) 小中学校におけるマイボトル専用ウォーターサーバーの設置について

- ① 近年、熱中症対策の強化、児童生徒の健康保持、環境負荷の低減の観点から、全国の自治体で小中学校へのウォーターサーバー設置が進んでいる。本市においても、夏季の気温上昇や運動時の脱水リスクが高まる中、児童生徒が安全に水分補給できる環境整備として、マイボトル専用ウォーターサーバーを設置する考えはないか。

2 運転免許証返納時の特典について

- (1) これまで車でごみ出しをされていた高齢者から、返納後にごみ出しが困難になったという声をもらった。タクシー券やバスICカードの支給といった移動支援に加え、生活支援として、シルバーカー等の購入補助や商品券を追加する考えはないか。

3 投票率向上と投票しやすい環境づくりの取組について

- (1) 2016年の法改正により、投票日当日でも指定された投票区にかかわらず、市区町村内の有権者であれば投票ができる「共通投票所」の設置が可能となった。導入している自治体では利便性向上や若年層の利用増の報告もある。本市においても、投票環境の改善策として導入すべきと考えるがどうか。